

2000年6月27日(日)

報道関係各位

第4回日本デュアスロン選手権若狭路大会

レース速報

開催地 : 福井県美浜町、三方町、上中町
開催日 : 2004年6月27日(日)
競技距離 : 第1ラン5 km、バイク32 km、第2ラン5 km
(日本選手権はバイク競技のドラフティング許可)
主催 : 若狭路デュアスロン大会実行委員会・福井テレビ・(社)日本トライアスロン連合(JTU)
共催 : 嶺南地域交流推進協議会(関西電力・日本原電・サイクル機構・(社)若狭湾観光連盟)
主管 : 福井県トライアスロン協会

優勝は女子が松本晴美(岡山県協会)、男子が森正(三重県)

第4回日本デュアスロン選手権若狭路大会が6月27日(日)、福井県三浜町を起点とする特設コースにおいて実施された。路上に前夜の雨が残るウェットコンディションの中、(社)日本トライアスロン連合強化指定選手、加盟団体推薦選手、男子11名、女子3名の精鋭が白熱したレースを展開した。

男子は森正(三重県協会)が優勝。2位には山本真二(東北大学)、優勝候補と目された高橋泰夫(岡山県協会)は3位に甘んじた。女子は松本晴美(岡山県協会)が実力を発揮、危なげない4連覇となった。

尚このレースはエリート・一般同時スタートながらエリートはドラフティング許可、一般は不許可という変則方式で実施されたが、両出場選手がルールの趣旨を理解し知秩序あるレースが展開された。

【女子】松本晴美、実力を発揮し4連覇を飾る!

第1ラン、バイク、第2ランを全てトップタイムで通過した松本晴美が2位に大差をつけ優勝。バイクではエイジグループの男子郡に周りを囲まれて走りづらい面もあったが、第2ラン18分34秒はエリート男子にも引けを取らない好タイムだった。ぎりぎりまで出場を決めかねていたが終わってみれば余裕の4連覇。連勝記録がどこまで伸びるのか今後も注目である。

2位の服部有貴(岐阜連合)、3位の小川みどり(岐阜県連合)は調整に失敗、実力を発揮することなく松本の独走を許すこととなったことが悔やまれるレースとなった。

【男子】森正、逆転で初の日本選手権優勝!

第1ランは中村勝則(福井県協会)と山本真二(東北大学)が15分04秒のハイペースで制し、優勝候補と目された高橋泰夫(岡山県協会)や山口崇(京都府協会)、森正(三重県協会)、中田崇志の4名が12秒差でバイクコースへ飛び出した。特に中村の活躍は地元福井の観客を大いに沸かせた。6 km付近でこの6名が一団となり熾烈な駆け引きを展開するが、オールフラットな直線コースは誰の抜け出しも許さなかった。優勝の行方はそのまま第2ランへと持ち越された。第2ランコースへといち早く飛び出した森正が僅差で終始リード。1.5 km付近から高橋、山本の2名で追走する展開となったが、最後までこの僅差は埋まらず、森正がそのままトップでフィニッシュゲートをくぐり、2位には山本真二、3位には高橋泰夫という結果となった。

森正には「嬉しいメジャー初優勝」、若い山本真二には「来年の優勝を誓う」、ベテランの高橋泰夫には「まだまだ」の思いが交差する三者三様の受賞風景だった。